

大西滝治郎 "海軍航空育ての親"で、特攻戦術創始の責を負われ、<敗戦>に'英霊に謝す'遺書を残して自決。

おおにしたきじろう

足尾鉦壽始・1891 = 兵庫県の農業大西亀吉の三男に生まれ、

日清戦争始・1894 = 3歳：

ビ7/国産化・1900 = 9歳：

日露戦争終・1905 = 14歳：

柏原中学を経て、

伊藤博文暗殺1909 = 18歳：

明治天皇没・1912 = 21歳：海軍兵学校を卒業。

少尉時代に創始期の航空隊に志望して操縦者となり、

__<第一次世界大戦>中は水上機で印度洋に行動、

本格政党内閣1918 = 27歳：英仏に駐在して、

大暴落・・・1920 = 29歳：帰国後、

原敬首相暗殺1921 = 30歳：

航空母艦の飛行長・副長、航空隊の副長・司令などを歴任、

金融恐慌・・・1927 = 36歳：

世界恐慌・・・1929 = 38歳：航空本部長、

満州事変・・・1931 = 40歳：

二二六事件・1936 = 45歳：*航空本部教育長に就任するなど、

日中戦争始・1937 = 46歳：

__終戦までを航空界に終始して"海軍航空育ての親"といわれ、飛行将校の信望を担う。

第二次大戦始1939 = 48歳：__第2連合航空隊司令官として重慶爆撃を指揮し、

日米開戦・・・1941 = 50歳：*太平洋戦争初頭には第11航空艦隊参謀長として南方作戦の成功に貢献。

・・・1942 = 51歳：__航空本部総務部長。新設の軍需省に航空兵器総局総務局長として入り、

創価学会検挙1943 = 52歳：__中将に進級。決戦兵器である航空機の増産にあたるが、

年金+総武装 1944 = 53歳：*第1航空艦隊司令官に転出し、米軍侵攻直後の比島に着任。しかし1航艦の可動機は数十機にすぎず、苦悩した大西はかねて外道と反対していた特攻戦法の採用を決意、10月25日第1隊が米空母に突入し、以後海軍航空隊は終戦に至るまで特攻を主攻撃法とする。

敗戦・・・1945 = 54歳：*台湾に後退した後、軍令部次長に転じ最後まで徹底抗戦を主張したが、終戦を迎え、'特攻隊の英霊に謝す'との遺書を残して自決した。